

1. 研究テーマ

地球観測情報などの環境データの統合解析、AI 等の情報技術利活用に関する研究・業務

2. 所属

研究・業務への適性に応じて、地球システム領域または環境情報部に配属

3. 募集人数

テニユアトラック型任期付研究員 1 名

(ただし、応募者の業績・経験により任期の定めのない研究員(主任研究員級、主幹研究員級を含む。)としての採用もありうる。)

4. 研究及び業務内容

気候変動問題をはじめ複合的な課題の同時解決が求められる地球環境研究においては、統合的・横断的なデータ解析の役割が重要となっている。地球観測や社会経済データなどの解析・活用は新たな知見の創出と政策的課題の解決に結びつくため、進捗著しい情報科学的手法を活用した研究開発は今後の環境科学の発展に欠かせない。

国立環境研究所地球システム領域では、大気・海洋・陸域等、地球表層システムの理解と地球環境保全のための調査研究を推進し、温室効果ガスや大気汚染物質等の長期モニタリングとデータ整備・発信を実施することで、これら地球の気候や環境に影響を及ぼす物質の排出・吸収のインベントリ策定及び検証といった気候変動緩和策に必要な科学的知見・基盤を提供している。

また同環境情報部では、多様な環境データの収集・整備・提供を行い、課題解決を支援してきた。R8 年度から始まる第 6 期中長期計画期間(R8-12 年度)では、人工知能(AI)を含む先端手法を活用した統合的データサイエンス研究を本格的に推進するため、大規模データ統合解析基盤の整備を進めている。

そこで本公募では、脱炭素社会の実現に向けた地球観測情報の利活用等、新たな環境研究の展開を進めるため、以下の研究及び業務①～⑥のいずれか、または複数に取り組む人材を募集する。

- ① 地球観測データ及び社会経済データ等に基づく国・都市等からの気候変動関連物質の排出・吸収量の監視、削減対策効果の分析・検証・評価
- ② 地球観測データに情報科学的手法を応用した、海洋・陸域等における環境変化の検出・予測、物質循環の長期変動要因の分析・解明
- ③ 大気モデルを用いる「トップダウン推計値」と社会経済統計に基づく「ボトムアップ推計値」の比較による排出インベントリ検証・評価の精度改善と迅速化における情報科学的手法等の活用
- ④ 数値情報・文字情報・画像・音声などのデータを横断的に統合し、環境分野での問題解決に対応した基盤モデルを構築するなど、先端的な AI の研究開発と環境分野研究への応用
- ⑤ 多種多様な観測と地理空間情報に基づく土地利用・大気質・水質・生態系などの環境状況の統合的な把握と解析、及び、気候変動適応はじめ他の環境保全分野へのそれらの応用
- ⑥ 分野横断的ビッグデータの収集・統合解析、データ利活用のための基盤整備(メタデータ・インターフェース等)、及び社会ニーズに応じた情報発信基盤の構築と運用

(業務の内容 変更の範囲)

国立研究開発法人国立環境研究所が行う、研究及び研究に付随する事務業務全般

5. 応募資格

以下のすべての要件を満たすこと。

- (1) 採用時点で、博士の学位を有すること（採用時に学位取得見込を含む）、あるいは同等の能力を有することが認められること。
- (2) 専門分野として、例えば地球科学、環境科学（自然科学・人文社会科学を含む）、大気科学、地球惑星物理学、情報学、理学、工学、農学、経済学等の分野に関して研究実績を有すること。
- (3) 「4. 研究及び業務内容」に示す研究、業務について、独立して主体的に推進する能力を有すること。①～⑤については、当該分野の国際誌に原著論文を発表するなど、関連する研究実績があることが望ましい。⑥については、実際に社会で活用されるなどの業務実績があることが望ましい。加えて、任期の定めのない研究員（主任研究員級、主幹研究員級を含む）の場合は、「4. 研究及び業務内容」に示す研究、業務について幅広い見識を持ち、指導及び管理する能力を有すること。
- (4) 研究及び業務を十分に遂行できる水準の日本語および英語によるコミュニケーション能力と研究成果発信能力（日本語検定 N1 レベル相当以上）を有すること。

6. 提出書類 ※（1）以外は様式自由

- (1) 履歴書（写真貼付、[所定の様式](#)を使用） 1 部
- (2) 業績目録（研究業績については原著論文、著書、解説、口頭発表別、競争的研究資金、学会・社会活動。その他の業務の実績については名称と担当部分の概要、従事年数。） 1 部
- (3) 主要論文や業務説明資料の別刷り又はコピー（3 編以内） 各 1 部
- (4) これまでの研究・業務の実績概要（A4 判 1～2 枚程度） 1 部
- (5) 研究・業務に対する抱負（上記の「4. 研究及び業務内容」末尾に挙げた業務①～⑥への対応がわかるように記載すること。A4 判 1～2 枚程度） 1 部
- (6) 所見を求めうる方の推薦状 2 通（2 名の方から各 1 通とし、国立環境研究所職員以外からの推薦状を 1 通以上とする。）

※提出書類の返却不可（選考後不採用となった場合は責任をもって処分します。）

7. 応募締切

2025 年 11 月 19 日（水）必着 ※「9. 応募方法」を参照すること。

8. 選考方法

書類選考及び面接審査による。書類選考の後、面接審査を行う者には連絡する。

面接日は 2025 年 12 月～2026 年 2 月を予定。

※面接審査においては Teams 等による WEB 面接とする場合がある。

9. 応募方法

電子送付による。電子送付方法については、以下のとおり。

○「6. 提出書類（1）～（5）」について

電子送付の方法については、11月12日（水）までに必ず下記15. (2)の担当者あてにメールでお問い合わせください。（メールで「6. 提出書類（1）～（5）」を送付するのは不可。）

その際、メールの件名を「R08-K-05 環境データ解析研究員応募」と記載ください。

メールをお送りいただいた方に電子送付の方法についてご案内します。

○「6. 提出書類（6）」について

推薦者から下記15. (2)の担当者あてに直接メールで送付ください。

10. 雇用予定時期

2026年4月1日以降、出来るだけ早い時期の着任が望ましい。

11. 雇用期間

任期は原則5年度。2026年4月1日着任の場合は、任期は最長で2031年3月末まで。雇用期間満了時に、更新があり得る（雇用期間中の業績等が優秀であれば、雇用期間終了とともにパーマネント研究員に採用する予定）。任期の定めのない場合、その限りではない。

12. 勤務地

つくば本部（茨城県つくば市）

（受動喫煙対策）屋内禁煙、特定屋外喫煙場所あり

ただし、つくば本部、福島地域協働拠点（福島県田村郡三春町）、琵琶湖分室への転居を伴う異動が有り得る。

13. 処遇等

応募者の実績に応じ、テニュアトラック型任期付研究員またはテニュアトラック型任期付主任研究員として採用する。雇用期間中の業績等が優秀であれば、雇用期間終了とともにパーマネント研究員（任期の定めのない研究員）に採用する予定。なお、今回の採用選考に当たって、業績、経験が特に優秀と認められる場合は、任期の定めのない研究員（主任研究員、主幹研究員級を含む。）としての採用もあり得る。

（試用期間）6箇月（試用期間中の労働条件同一）

（勤務時間）裁量労働制

裁量労働制は勤務日に対象業務に従事した場合、1日について8時間15分勤務したものとみなす。

（その他就業関係）「任期付職員就業規則」、「職員人事規程」、「職員給与規程」及びその他関連規定によりご確認ください。

（参考）国立環境研究所基本規程 <http://www.nies.go.jp/kihon/kitei/index.html>

また、国立環境研究所の定める条件を満たせば、任期中に6か月以上1年以内の海外派遣研修制度に応募することも可能。

14. その他

本公募は科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第 15 条の 2 の対象業務に該当します。

※科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律と労働契約法第 18 条の通算契約期間に関しては、以下を参照してください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000488206.pdf>

15. 問い合わせ先及び書類提出先

(1) 選考及び研究内容に関する問い合わせ先

国立研究開発法人国立環境研究所

地球システム領域長 谷本 浩志

Tel 029-850-2930

E-mail : tanimoto(半角で@nies.go.jp をつけてください。)

(2) 処遇等に関する問い合わせ先及び書類提出先

〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2

国立研究開発法人国立環境研究所

総務部人事課 杉本 崇行

Tel : 029-850-2316

E-mail : saiyo(半角で@nies.go.jp をつけてください。)

16. 公募番号

R08-K-05